


特定非営利活動法人 日本免疫学会
2023 年度 後期 Tadimitsu Kishimoto International Travel Award
研究発表報告書

申請者氏名	渡邊 美幸	会員番号	0034321	
申請者の所属・職名	九州大学 生体防御医学研究所 粘膜防御学分野 特定プロジェクト教員(助教) 大阪大学 免疫学フロンティア研究センター(IFReC) 招聘研究員			
出席会議名	The 2nd International School on Advanced Immunology			
発表論文タイトル	The kinetics of signaling via common Fcγ chain determine dendritic cell responses by altering chromatin status			

実施結果:

この度は、Tadimitsu Kishimoto International Travel Award に採択いただき、誠にありがとうございました。岸本忠三先生をはじめ、選考委員の先生方に厚く御礼申し上げます。

本 Travel Award のご支援のもと、ドイツの Maria Laach にて開催された The 2nd International School on Advanced Immunology に参加させていただきました。Bonn 大学の ImmunoSensation² による主催で、ヨーロッパを中心に世界各国の Ph.D.とポスドク約 50 名が参加しました。計 5 日間の日程では、全参加者による 10 分間の口頭発表に加え、Invited Speaker によるセミナーや近隣への Excursion などがあり、学術的な交流だけではなくドイツ Bonn の自然や歴史についても理解が深まる充実した内容でした。私は学位論文の内容である「C型レクチン受容体シグナルの樹状細胞応答決定機構」について発表しましたが、予想以上に緊張してしまい質問内容に対して最適な返答ができませんでした。これまで国内では英語での口頭発表を何度か経験していたつもりでしたが、ネイティブな人達の前での発表に対しては全くの実力不足であると痛感しました。そんな中でも、発表後にはポジティブな意見もいただくことができ、拙い発表ながらも研究内容は伝えることができたのではないかと感じております。また、各国の同年代の研究者との交流を通して、プレゼンスタイルや質問に対する答え方、研究対象について、日本との違いを感じる場面が多く、今回得られた新たな視点を取り入れることで、今後の研究を発展させていきたいと思っております。

最後に、本賞に推薦していただいた山崎晶先生及び、日頃よりご指導いただいております澤新一郎先生、そして両研究室の皆様にご心より感謝申し上げます。